

参加者氏名 フリガナ	所属施設・病院	電話番号	FAX 番号	E Mail	部屋のご希望
					<input type="checkbox"/> 1部屋名(相部屋)を希望します。 <input type="checkbox"/> 1部屋1名を希望します。
					同室希望者氏名()

FAX 申込書 FFR ワークショップ事務局 FAX 03 3247 6271

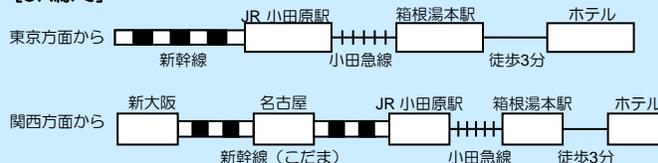
Venue

湯本富士屋ホテル
〒250-0392
神奈川県足柄下郡箱根町湯本256-1
TEL: 0460-85-6111
FAX: 0460-85-6420
E-mail: yf.shukuhaku@fujiyahotel.co.jp
http://www.yumotofujiya.jp/index.html

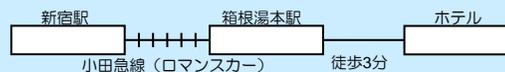
ACCESS



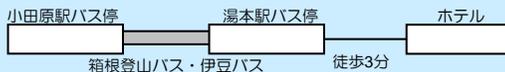
[JR線で]



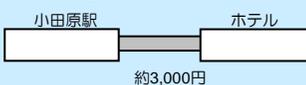
[小田急線で]



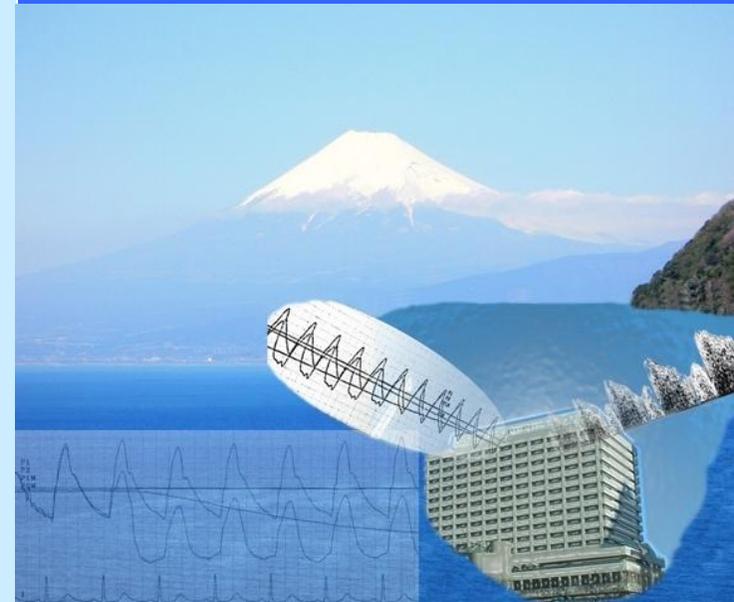
[路線バス15分]



[タクシー 約10分]



2013 8th FFR Workshop in Japan



FFR Club Japan
www.ffrclub.com

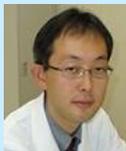


2013年3月1日~2日
箱根湯本富士屋ホテル

主催：東京医科大学循環器内科
FFR ワークショップ

■ 第8回 FFRワークショップ開催のご案内

東京医科大学循環器内科 田中 信大



心臓カテーテル治療の歴史において薬剤溶出ステントの出現は明らかに革新的なものであります。再狭窄は激減し、治療の適応が大きく広がりました。しかしその一方で晩期血栓症などの問題から、カテーテル治療の長期予後に及ぼす影響が見直され、生命予後改善の難しさを思い知らされました。狭い所(狭く見える所)を闇雲に拡げる、という治療が必ずしも良い結果(長期予後)につながらないということは明白であります。

個々の症例において薬剤治療・カテーテル治療・バイパス手術を選択する際に、的確に個々の病変の重症度を評価し、治療方針を決定する必要があります。欧州、米国ではESC、AHA/ACCのガイドラインにおいて、非侵襲的な負荷検査法と並んでFFRによる評価の有用性が掲載されていますが、日本においてはFFRを利用した診療を行っている施設は限られていました。しかし2012年4月保険診療報酬改訂により、多くの心カテ室でFFR計測が始められています。FFRを使いこなすことにより、生命予後の改善に寄与するばかりでなく、医療費の削減も可能とします。ただし、適正な使用状況、正しい計測手技によって、正確なFFRを求めなければ、その有用性を引き出すことはできません。FFRをより多くの方々に理解していただくために、またFFRを通して冠循環の理解を深めていただき、ひいては虚血性心臓病の治療に貢献すべく本ワークショップを企画いたしました。FFR普及のためには、計測時のコツや注意点などを知っていただくことが重要であり、気軽に質疑応答、議論をしていただくため少人数に限定しました。また普段臨床に忙しい先生方だけに、日常から少し離れた山里にてしばしの間FFRに没頭して頂くため、宿泊型と致しました。

箱根の湯煙の中、お会いできるのを楽しみにしております。

代表幹事：田中 信大 (東京医科大学)

幹事：松尾仁司 (岐阜ハートセンター)

藤田 博 (京都第2赤十字病院)

民田浩一 (西宮渡辺心臓血管センター)

村上智明 (千葉循環器病センター)

進藤直久 (新座志木中央病院)

廣畑 敦 (心臓病センター榊原病院)

顧問：赤阪隆史 (和歌山県立医科大学)

高沢謙二 (東京医科大学八王子医療センター)

山科 章 (東京医科大学)

- 日時：2013年 3月1日(金)16時ホテル集合
3月2日(土)15時ころ 解散予定
 - 会場、宿泊施設：神奈川県箱根 湯本富士屋ホテル
コンベンションルーム箱根
TEL 0460(5)6111
 - 対象参加者：PCIを学ぶ過程の術者で、
FFRの臨床応用に興味をもたれる方。
 - 参加者人数：30名に限定させていただきます。
(応募先着順で決定させていただきます。)
 - 参加費(研究会会費)
医師：8,000円
コメディカル：3,000円
企業：12,000円
宿泊費(3食食事代含む)
1部屋2名宿泊 1人当たり 8,000円
1部屋1名宿泊 1人当たり 18,000円
- ※ 参加のお申し込みは、このパンフレットの申込書に必要事項をご記入の上、2月7日までにFAXにてお願い致します。

* * * * *

3月1日(金)

- 15:30 箱根湯本駅より徒歩3分
ホテルロビーにて受付開始
- 16:00 FFR Case Conference
- 18:00 - **イブニングセミナー ‘Physiologyを語る’**
特別講師 BK Koo先生、赤阪隆史先生
松尾仁司先生
懇親会

* * * * *

3月3日(土)

- 7:00 - 8:00 朝食
- 8:00 - 12:00 **症例(ビデオライブ)検討を中心とした講義**
- 12:00 - 13:00 ランチョンセミナー
- 13:00 - 14:30 **症例(ビデオライブ)検討を中心とした講義**
- 14:30 - 15:00 まとめ
- 15:00 解散

■ 講義内容

- ・ FFRを理解するための冠循環の基礎
- ・ 確実な最大充血を得るためのコツ
(塩酸パップリン、ATP経静脈投与)
- ・ 日常臨床でいかに使うか
- ・ Tandem lesion、diffuse lesionの評価
- ・ LMT病変の評価
- ・ 圧損失の原因～拡張性病変、非狭窄LAD
- ・ FFR vs OCT、FFR vs RI
- ・ FFR-CT
- ・ ピットフォール1:リニアシフト
- ・ ピットフォール2:ガイディングカテーテルの影響

* * * * *

なお、参加費は、2013年2月14日(木)までに、
下記口座にお振込み下さい。

銀行名：三井住友銀行 新宿西口支店
口座番号：普通預金 2564030
口座名：FFR ワークショップ
代表：進藤直久

■ お問い合わせ先

FFRワークショップ事務局 (ケイ・マーケティング内)
03-3247-6248 (担当:河村)

東京医科大学循環器内科医局
03-3342-6111 (内線 5900)

